

20241007国語ワークシート『^{だい}第^{だいい}102代^{かく}内閣^{そうり}総理大臣^{だいい}誕生^{たんじょう}』

(科)

ニュースを聞いて、()の中に適切な言葉を書いたり、選んだりしよう。

- ① 第102代目の内閣総理大臣は（ ）氏。
- ② 岸田前総理の在任期間は、1094日で、戦後（ ）番目の長さとなる。
- ③ 石破茂首相の掲げる政治は、国民の（ 反対 ・ 納得 ・ 頑張り ）と（ 共感 ・ 関心 ・ 働き ）を得られる政治です。
- ④ 日本は国会議員から選出される（ 大統領制 ・ 議院内閣制 ）を採用しています。
- ⑤ 一方アメリカや韓国は、国民投票で選出される（ 議院内閣制 ・ 大統領制 ）を採用しています。

2 ニュースを^き聞いて、^{かんが}考えたことを^か書こう。

- あなたは、日本の首相をどのように決めるのが良いと考えますか？

ぎいんないかくせい
議院内閣制

だいとうりょうせい
大統領制

がいいと考えます。

理由()

- あなたは、これからの日本が、どんな世の中になることを期待しますか？

- (1) ()
- (2) ()
- (3) ()

だい だいないかくそうりだいじんたんじょう
第10代内閣総理大臣誕生

れいわ ねん がつ にち ご ご しゅうぎいんさんぎいん しゅうしゅうしめいとうひょう いしば
令和6年10月1日午後、衆議院参議院による首相指名投票が行われ、石破
しげるぎいん だい だいめ ないかくそうりだいじん しめい
茂議員が、第102代目の内閣総理大臣として指名されました。

きしだぜんそうりだいじん いしばないかく ほっそく しつむ
岸田前総理大臣は石破内閣の発足を前に、およそ3年間、執務にあたった
そうりだいじんかんてい
総理大臣官邸をあとにしました。

きしだぜんそうりだいじん ざいにんきかん がつ にち にち せんご ばんめ なが
岸田前総理大臣の在任期間は10月1日まで1094日で、戦後8番目の長さとな
りました。

いしばしげるしゅうしゅう こくみん なっとく きょうかん え せいじ すべ ひと
石破茂首相は、国民の“納得”と“共感”を得られる政治を掲げ、「全ての人に
あんしん あんぜん しゃかい じつげん ひょうめい
安心と安全をもたらす社会を実現する」と表明している。

だれ どうせん だれ らくせん せんきょ こくみんぜんいん いけん ひと どういつ
誰かが当選すれば、誰かが落選するのが選挙。国民全員の意見を一つに統一
することはできません。ひとびと なか こくみんとうひょう そうり えら い ひと
人々の中には、「国民投票で総理を選べ!」、と言う人もいま
すが、にほん ぎいんないかくせい さいよう げんじょう ほか
日本は『議院内閣制』を採用しているので、現状それはできないのです。他
くに
の国では、カナダやドイツ、イタリアなどもそうです。

かんこく だいてうりょうせい さいよう こくみん せんきょ
しかし、アメリカや韓国などでは『大統領制』を採用しており、国民の選挙によっ
ちよくせつせんしゅつ せいど
て直接選出する制度です。

こっかいぎいん せんしゅつ ぎいんないかくせい こくみんとうひょう せんしゅつ
あなたは、この国会議員から選出される『議院内閣制』と、国民投票で選出さ
れるだいてうりょうせい よ かん
る『大統領制』どちらが良いと感じますか？

職業学科「情報」学習指導略案

単元・題材名		情報モラル①～ネット依存～
単元 題材 目標	知識及び技能	ネット依存の危険性について理解することができる。
	思考力、判断力、表現力等	ネット依存にならないためにはどのようにしたら良いか考え、仲間と意見交流することができる。
	学びに向かう力、人間性等	生活の中で気をつけることができそうなことを振り返ることができる。

学習集団	1 学年職業学科		学習場所	視聴覚室
日 時	令和6年9月 10 日（火）2 校時		指 導 者	MT：関口 ST 1、ST 2
本時の 目標	知識及び技能	今日の学習内容を理解し、ワークシートに取り組んだり、ネット依存はどのようなことなのか理解をすることができる。		
	思考力、判断力、表現力等	自分自身の生活を振り返り、仲間と。		
	学びに向かう力、人間性等	積極的に学習（ワークシート、グループ交流）に取り組む。		

本時の展開

時程	学習内容・学習活動	支援・配慮事項、	教材・教具、その他
9：50	1. 挨拶（号令：MT が指名する） 2. 今日の目標、学習内容を知る →スライドに注目し、話を聞く 3. 動画(事例)を見て、何がいけないのか 考えワークシートに記入する。 4. グループ交流	・出欠を確認する ・MT の話に集中できるように姿勢や目線を意識するよう言葉掛けする。 ・スライドに沿って説明する。	・ワークシート
9：55	3. 動画(事例)を視聴する。 ・ネット依存の定義を知る。 ・NHK フォースクールより、ネット依存の事例を視聴する。 ・3つの場面より ①何がいけないのか ②ネット依存により体や心に起こる影響は？ ③ネット依存にならないために、自分でできそうなことは？ ワークシートに記入。	・文章を考えるのが難しい生徒は、支援をする。	
10：05	4. グループ交流 ・Google からスプレッドシートに自分の意見を入力。 ・グループごとに分かれ、スプレッドシートを見ながら意見交流をする。		・クロムブック(ICT 活用)
10：30	5 次時の予定について ・個人情報の取り扱いについて		
10：40	6. 挨拶（号令：MT が指名する） ※ワークシートを提出する		

情報モラル③

今日の学習内容

1. ネット^{いぞん}依存とは？
2. ネット^{いぞん}依存にならないためには？
3. 今日のまとめ



【アンケート】 あてはまるものに○をつけて下さい。

① 1日のスマホ、ゲームの使用時間は何時間ですか？(平日、学校から帰宅してから)

・ 1～2時間 ・ 3～4時間 ・ 5～6時間 ・ 6時間以上

平日、学校から帰宅して _____ 時から _____ 時までスマホ、またはゲームをしている。

② 家庭でスマホ、ゲームの使用時間についてルールが _____ ある ・ ない _____

③ スマホまたは、ゲームの使用時は _____

・ 自分からやめられる ・ 親に言われてやめられる ・ その他(_____)

1. ネット^{いぞん}依存とは？

ネット^{いぞん}依存とは

インターネットやスマートフォンの使用を
自分の意思^{いし}でコントロールできない状態^{じょうたい}のことをいう。

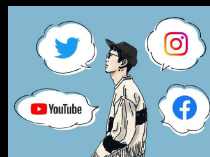


5時間ゲームしてるとやらない



深夜1時

ネット^{いぞん}依存のタイプ



コンテンツ依存
動画や音楽サイトの視聴、ネットの書き込みなど



ゲーム依存
何時間もゲームをしている



つながり依存
友達とゲームでチャットなど

そもそもの原因・・・



オンラインゲームなど
友達とあそべる



会話やチャット深夜でも誰か
友達がいる



過剰に使ってしまう

考えてみよう①



高校1年生のまさや君はずっとスマホを
いじっていますが、**どの場面**で、**どういう所**が
いけないと思いますか？

ヒント：①テニスの場面 ②食事の場面
③お風呂の場面

前回のグループの話し合い

・テニスの場面

→自分から友達を誘っておきながら、
遅刻＆やらずに帰宅はひどい・・・

・食事の場面

→ごはんを食べながらスマホをいじってた
(ながらスマホ)



前回のグループの話し合い

・お風呂の場面

→スマホに熱中しすぎ。
→さすがにそこまではしない・・・
→あとで家族に迷惑がかかる



考えてみよう②



インターネットやゲーム、スマホを長時間
することで「**体や心**」、「**生活面**」にどんな
影響がでるだろう？

ずっと友達とオンラインゲームで会話していたいよ！



前回のグループの話し合い

体や心におこる影響

- ・頭痛
- ・睡眠不足すいみんぶそく→朝に寝る
- ・正常な判断ができなくなる
- ・ダメージが蓄積ちくせきされる

生活面(家&学校生活) におこる影響

- ・友達＆家族に心配される
- ・授業に受けられない(眠くて)
- ・イライラする
- ・具合が悪くなる
- ・夜眠れなくなる&朝起きるの辛い

考えてみよう②



体や心におこる影響

- すいみんしょうがい
・睡眠障害
- じょうたい
・うつ状態
- しりよくていか
・視力低下
- かんじょう
・感情(心)をコントロールできない
- ・イライラしやすい



生活面(家&学校生活)におこる影響

- ちこく ふとうこう いねむ
・遅刻、不登校 ・居眠り
- ・友達とケンカ(イライラして)



いぞん 2. ネット依存にならないためには？

考えてみよう③



いぞん
ネット依存になるならため健康心、生活面に
わるい へいきょう
悪影響が及ぶ気が怖くないか？

インターネットがないと生きてけないよ～



今日のまとめ



① ゲームやスマホなど使用する時間を決める

- 例① 1日2時間まで
- 例② 使用後はスマホなど親にあずける

② 自分から意識して気をつける！(すべては自己責任！)



今日はゲーム夕方5時までね

令和6年度 理科 2学年 年間指導計画

指導者: 津辻 貴之

学年 目標	・集団生活の中で、体を清潔に保つ必要性を理解し、実践できる。
	・風邪を予防することが、周りの人へのマナー(清潔感)であることを意識できる。
	・からだのしくみについての知識を深め、病気や怪我を予防しようすることができる。
	・生命の大切さの知識を深め、命あるものを大切に扱うことができる。
	・天気予報を見て、天候や気温に応じた準備(服装・持ち物)をすることができる。
	・自然現象の恐ろしさ、危険を回避する方法や災害時の適切な行動についての知識を深める。
	・身の回りの物質の性質、道具や機械・日用品等の適切な扱いの知識を深める。

	指導内容	働	暮	閑	バ
A	(全学年) ＜生命＞ ・植物の発芽、成長、結実 ・動物の誕生 ・人の身体づくりと働き ・植物の養分と水の通り道 ・生物と環境	-	○	-	-
B	(全学年) ＜地球・自然＞ ・流れる水の働きと土地の変化 ・天気の変化 ・土地のつくりと変化 ・月と太陽	-	○	-	-
C	(全学年) ＜物質・エネルギー＞ ・物の溶け方 ・電流の働き ・燃焼の仕組み ・水溶液の性質 ・てこの規則性 ・電気の利用	-	○	-	-

← 全学年から自動で転記されます。

期	月	単元・題材	目標・ねらい等	時数
前期	4	オリエンテーション	・1年間の理科の内容について知り、目標を持つ。	1
	5	動物の分類(A) 生命誕生(A)【保健体育】	・動物の特徴を知り、分類することができる。 ・動物の発生や成長について理解することができる。	2
	6	食物連鎖(A) 水の性質(C)【社会】 色んな洗剤(C)【家庭科】 混ぜるな危険(C)【家庭科】	・食物連鎖の関係を知り、動植物を大切に する気持ちをもつ。 ・水の性質と汚れの落ちるしくみを知る。 ・洗剤や暖房など便利な物でも、扱い方を間違 うと命に関わることを理解し、命を落とさない ようにする。	4
	7	一酸化炭素中毒(C) 事物や機械(C)	・洗剤や暖房など便利な物でも、扱い方を間違 うと命に関わることを理解し、命を落とさない ようにする。	2
	8	家電事故(C) 電流の働き(C)	・便利な家電製品の危険性について理解し、安 全に取り扱おうとすることができる。 ・電流の働きについて、電池や静電気発生装置	2
	9	電気の利用(C) 実験 静電気(C)	・電気の利用(蓄電・発電・変換)について知 り、生活に生かす。 ・静電気の性質について理解し、生活と結びつ	1
	10	実験 電気の利用(C) 直列と並列	・乾電池の数やつなぎ方によって、電流の大き さや向きが変わること理解することができる。	1
	11	地震のしくみ(B)【一日防災学校】 地震による被害(B)	・地震のしくみや災害の被害について知る。 ・日本が世界の中でも最も地震の多い国である ことを知る。	3
	12	津波(B) 災害時の行動(B)	・津波のしくみや災害について知る。 ・災害に備える知識を身につける。 ・危険を回避したり、災害時に行動できる力を 身につける。	3
後期	1	火山活動(B) 災害時の行動(B)	・火山のしくみや災害について知る。 ・災害に備える知識を身につける。 ・危険を回避したり、災害時に行動できる力を	3
	2	実験 酸化還元(C)	・酸化と還元について理解し、安全に実験を行 うことができる。	3
	3	実験 中和反応(C)	・中和反応について理解し、安全に実験に取り 組むことができる。	1
	通年	日常生活チェック 本時の振り返り 簡単な実験		
				26

←「単元・題材」「目標・ねらい」を打ち込んでください
枠不足のときは枠を下に広げてください
全学年のシートに自動で転記されます

← 自動計算されます

評価 方法	〈知識及び技能〉	〈思考力、判断力、表現力〉	〈学びに向かう力、人間性〉
	授業中の発言、様子	授業中の発言、様子	授業中の発言、様子
	ワークシート等の記述、回答	ワークシート等の記述、回答	自らの生活に生かそうとする態度

←「◎」「○」「－」から選んでください。

反省・ 引継	
-----------	--

← 全学年のシートに自動で転記されます

日時	令和6年7月17日(水)6校時：1組 令和6年7月24日(水)3校時：2組		場所	理科室
指導時数	6/23		指導者	津辻
単元名	物質の性質と機械器具		題材名	電気の利用
本時の目標	知・技			
	思・判・表	電気の利便性や危険性について考える。		
	学び～	電気の変換を実生活と結び付けることができる。		
	時間	学習項目	主な学習内容	指導上の留意点など
導入	3分	挨拶 1 復習 2 本時の学習について	日直が行う。 1 今日の理科返却 2 身の回りで危険な物の一つとして、家電製品について触れることを知る。	iPad プロジェクター AppleTV
展開	20分	1 電気の変換	1. 身の回りの物で電気が力に変換されていることを知り、何があるか友達と話し合う。	ワークシート 【話し合い活動】 →FigJamを活用し、付箋機能などを使って意見を出し合う。 ※まずは、生徒同士で話し合うようにし、話し合いが進まない場合、助言する。 (インターネット検索は最終手段とする。)
	20分	2 電気の利便性と危険性	2グループに分かれて、友達と話し合いながら変換されている物を挙げていく。 - グループ毎に発表する。 - 様々な便利な物に電気が使われていることを確認する。 ※例：電気＋熱＝電気ポット 電気＋光＝懐中電灯 など	
	5分	3 まとめ	3. 電気を変換した力には、便利さだけでなく、危険性もあることを確認する。 ・終わり次第、「今日の理科」に取り組む。	
まとめ	2分	次時の予告 挨拶	月 日() 校時「家電事故」 日直の号令で挨拶をする	

反省

- 普段、使っている家電を取り扱うことで、話し合いが円滑に進んだ。
- 使い慣れているiPadを使うことで、新しいアプリケーションにも意欲的に取り組むことができた。
- 新しく使用するアプリケーションであったため、機能の説明をすることに時間がかかり、「利便性と危険性」の話し合いの時間が短くなってしまった。

授業で使った FigJam の画面

共同編集ができるため、それぞれの iPad の画面で操作することができる。また、操作上のタイムラグがほとんどないため、瞬時に情報の共有をすることができた。

